

# 新天地を求めて

## 県人創業物語

### ナプラ（大阪市）①

「当社は美容室に育つてきた企業、美容業界で競合が少なく、他社界にプラスになるものをつくり、ともに繁栄していきたい。」

業務用ヘアケア製品の総合メーカーとして国内2位の成長したナプラ（大阪・北摂）

美馬市六吹町出身の武田恒一さん（67）は、今も今の状態を維持して後の経営戦略で美容室を重視する姿勢を鮮明にしている。

美容室の取引は継続している美容業界の未だ、美容品のサリテスで、美馬市との関係が向いていく。

# 美容業界活性化探る

2000年ごろに「カ」発を強化しているのも、メカとして業界活性化のために動き出す美容師を目指す。また、美容業界の活況が起る美容師を目指す。また、美容業界の活況が起る美容師を目指す。また、美容業界の活況が起る美容師を目指す。



約1万人の来場者が詰め掛けた「ドリームプラス」。若手美容師育成や業界の活性化を狙い、ナプラが始めた13日、東京の日本武道館（ナプラ提供）

2017年6月29日 徳島新聞掲載

# 新天地を求めて

## 県人創業物語

### ナプラ（大阪市）②

美馬市六吹町出身の武田恒一さん（67）は、今も今の状態を維持して後の経営戦略で美容室を重視する姿勢を鮮明にしている。

# 徳島で商品全て製造

マ剤「ロンドンブリック」が人気を集め、大規模な業務に携わる。大阪府内2カ所に構えて社員を約100名に増やした。工場内2カ所に構えて社員を約100名に増やした。工場内2カ所に構えて社員を約100名に増やした。



業務用ヘアケア製品を作るナプラの社員。徳島で作った商品が全国的美容室に送られる—美馬市協町

2017年6月28日 徳島新聞掲載

# 新天地を求めて

## 県人創業物語

### ナプラ（大阪市）③

シャンプーやカラー剤など消費者にとって身近なヘアケア製品（穴吹町古宮）に生まれると、今度は自らも美容室を営んでいく。

### 武田恒一さん・政憲さん 美馬市六吹町出身

# パーマ液開発で飛躍

父は社長、自身も村造を始めた。当時まだ何とかなる」と政憲さん。父は社長、自身も村造を始めた。当時まだ何とかなる」と政憲さん。



自社商品を手にしながらか「2020年に売上高200億円を目指す」と話すナプラの武田政憲社長—大阪市

長になり、2006年には社名を「ナプラ」に改めた。「自然を取り入れて髪に優れたい」との思いを込めた造語「ナチニプラ」から名付けた。政憲さんは今も開発の現場に立ち続けている。

2017年6月27日 徳島新聞掲載